

## 2022年度 学校関係者評価報告書

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校  
学校関係者評価

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校関係者評価委員会は「2022年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者評価を実施したので報告する。

### 【学校評価の結果】

評価基準は、基準Ⅰ～Ⅹまでの大項目、37中項目、262小項目の評価指標について自己評価を行った後、学校関係者評価を実施し最終評価とした。

評価基準:4段階評価 (4:適切 3:やや適切 2:やや不適切 1:不適切)

表1

| 大項目      | 平均点 | 関係者評価委員の意見   |
|----------|-----|--|
| 基準Ⅰ 教育理念 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"><li>・第5次カリキュラム改正に伴い、教育課程の編成、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーが明確になっている。</li><li>・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想については、学校運営委員会で意見交換しているが、18歳人口の減少、大学志向が増加しつつある現状を見据え看護師養成所の魅力を発信することや本校の魅力等について様々な視点から学生確保に向けて話し合いをしていく必要がある。</li></ul> |
| 基準Ⅱ 学校運営 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"><li>・教育理念・教育目的・目標を達成するための運営方針を明確に定め、年度初めに職員に周知した。学校関係者評価委員の評価を踏まえ、次年度の重点目標は教職員の資質向上に向けて取り組む。</li><li>・意思決定システムとして組織図を明確にしており、重要な決定事項は医師会理事会を経て決定している。</li></ul>  |
| 基準Ⅲ 教育活動 | 3.9 | <ul style="list-style-type: none"><li>・第5次カリキュラムがスタートし、履修要綱やシラバス等を明確にしている。また、評価基準や評価方法等についても明確に示している。実習については実習場所や展開方法について課題があるため、「教育課程編成委員会」での意見を吟味し検討を進めていく。</li><li>・2022年度は沖縄県で専任教員養成講習会が開催され、3名受講することができ教育の質向上に繋がったと考える。</li></ul>                     |
| 基準Ⅳ 学修成果 | 3.7 | <ul style="list-style-type: none"><li>・就職率は99%、看護師資格で73名就職。准看護師資格で2名就職している。1名は未就職。</li><li>・国家試験は全国の合格率を上回っているが、100%合格に至っていないため、国家試験対策委員長をはじめ、全員が一丸となり取り組んで欲しい。</li><li>・卒業生の社会的評価に関しては、現状把握に至っていないため今後の課題。</li></ul>                                      |
| 基準Ⅴ 学生支援 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"><li>・学生に対する経済的支援については「日本学生支援機構」「沖縄県修</li></ul>   |

|                         |            |  |
|-------------------------|------------|--|
|                         |            | <p>学支援」、社会人学生には「職業訓練給付金」の情報提供をタイムリーに行い、学生支援に繋げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全法に基づき、年1回定期健康診査を実施している。要検査が必要な場合は個別に指導や医療機関での受診を勧めている。</li> <li>・2022 年度も教員による面談件数が多い。スクールカウンセラーを活用する学生が少ないため、活用しやすいシステム作りを検討する必要がある</li> </ul> |
| <b>基準VI 教育環境</b>        | <b>4.0</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守に関しては、これまでと同様、専修学校設置基準、看護師等養成の運営に関する指導ガイドラインを踏まえている。</li> <li>・コロナ禍だが臨地実習は70%受け入れてもらった。また、学内実習も充実した備品や環境づくりで実施されている。</li> <li>・防災については防災管理規程に基づき、「火災・地震災害時の対応」について全学生職員を対象に年1回実施している。</li> </ul>         |
| <b>基準VII 学生の募集と受け入れ</b> | <b>4.0</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集に関して、コロナ禍により高等学校対象の学校説明会を開催また、教職員は高校主催の職業教育や学校説明会で看護職や教育課程についての説明を実施した。</li> <li>・オープンキャンパスは年2回実施しており、1回目はオンライン、2回目は人数制限しながら対面で実施することができた。</li> </ul>  |
| <b>基準VIII 財務</b>        | <b>3.9</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師になる志望動機が弱い学生は、就職後も退職に繋がっている事例がある。また、休学・退学者が発生すると学校運営に影響を及ぼすため、入試選抜等を検討する必要がある。</li> </ul>   |
| <b>基準IX 法令等の遵守</b>      | <b>4.0</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令の設置基準に基づき、学校運営を行っている。学校運営に必要な規則・規程等を整備し適切に運用している。学生の意見については投書箱を設置して対処している。</li> <li>・コロナ禍により、オンラインでの授業や実習が導入されたことでデータを適切に扱う必要があるため、個人情報の取り扱いについて、外来講師による特別講義を全学生に実施している。</li> </ul>                      |
| <b>基準X 社会貢献・地域貢献</b>    | <b>3.7</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、地域や実習施設に出向いてボランティア活動を実施してきたがコロナ禍により今年度も実施できなかったが今後も継続して欲しい。</li> <li>・卒業生・地域の実習関連施設の職員に対し、図書室の利用や図書の貸出を行っている。また、国家試験不合格者に対して施設利用の許可や国家試験特別講義等の参加を促し、卒業生の学習支援を整えている。</li> </ul>                            |